

平成 24 年度貸付金利率の最高限度

▼ 6月 29 日開催の第 3 回理事会で次のとおり決定しました。(関連記事は 13 ページ)

- 1) 平成 24 年度における貸付金利率の最高限度：年率 5.5% (前年同様)
- 2) 貸付金の種類別の実行利率

種 類	実行利率
①証書貸付金	年率 4.5% (前年度 5.0%) ※但し、組合強化積立預り金を担保に証書貸付を行う場合にあっては、担保額迄は年率 3%、担保額を上回る部分の証書貸付は 4.5%とする。
②購買貸越金	年率 3.5% (前年度 4.0%)
③貸付牛 (購買導入 6 カ月後一括、6 カ月分割償還含む)	年率 1.2% (前年度 2.9%)
④販売仮渡金	年率 3.0% (前年度 3.5%)
⑤酪農後継者就学金貸付金	年率 3.0%

総務管理課

☎〇八二四一六四一〇七二

節電の夏

“牛舎環境の改善”で暑熱対策と乳質低下防止を!!

全国的な節電対策が求められています。夏場の猛暑は、暑熱ストレスによる生産性の低下や分娩事故、受精遅延等を招き、酪農経営に大きな影響を与えます。組合員の皆さんには、暑熱対策と乳質低下に努めて頂き、生乳需要に対応できる生乳生産と乳牛達が快適に過ごせる夏期対策に努めましょう。

■暑熱対策のチェックポイント■

1. 牛舎内の温度上昇防止・湿気とアンモニアの排出をしましょう！
 - ①牛舎の風通しを良くする。
(窓の開放、壁の開口部の設置、障害物の撤去、密飼いを避ける)
 - ②屋根を断熱、冷却する。直射日光を遮る。
(屋根を白く塗装、屋根への散水、スプリンクラーの設置(要費用検討)。日除け、ひさし、つる性の植物を植えて緑のカーテン)
 - ③扇風機の送風向きや強さの調整。
2. 牛体からの放熱の促進に努めましょう！
 - ①毛刈り、削蹄する(牛の快適性を高める)。
 - ②牛体に送風する。
 - ③熱放散を妨げないように牛体の汚れを落とす。
3. 飼料摂取量の減少防止と不足栄養分を補給
 - ①新鮮な水を十分に給与する。
 - ②品質の良い粗飼料を給与する。
(消化率の高い粗飼料の給与、切断長を短く給与回数を増やす)
 - ③飼料の変敗を防止する(飼料の定期的な管理、飼槽を清掃する)。
 - ④塩分、重曹などミネラル等を補給する。



(参考：全国酪農業協同組合連合会「電力に頼らない“暑熱対策”のヒント」)

事業推進課

☎〇八二四一六四一〇七二

台風がやってくる!! 事前の安全対策が大事

台風がやってきます。台風は、強風だけでなく豪雨も伴い、土砂災害でも大きな被害をもたらします。牛舎や堆肥舎、周辺施設の損壊等を予防するためにも、事前の対策をとっておきましょう。

未然防止対策	事後対応
1 畜舎や堆肥舎は、風雨に対する補強と周辺水路の整備等を実施し、損壊防止に努める(トタンや板の飛散、雨漏り対策等、牛舎への雨水流入等の食い止め対策)。 2 家畜ふん尿の流出防止のため、堆積場所の移動等を行う(河川や水路への流出対策、糞尿をシートで覆うか屋根下等に移動)。 3 搾乳施設等は、停電時の対応策として発電機等を準備する。 4 飼料畑は排水路の点検、整備を行い、余剰水が速やかに排水できるようにする。 5 風雨が強い場合は、危険なため外に出ない。	1 畜舎や堆肥舎が浸水した場合は、速やかに洗浄と消毒を実施するとともに敷料の交換や通風、換気等によって乾燥を促進し、家畜ふん尿等による汚染防止に努める。 2 飼料に雨水が混入した場合は、腐敗やカビの発生が懸念されるので給与しない。 3 湿害の影響がある場合は、迅速に排水する。 4 肥料分の流出には、追肥等で養分を補い、生育の早期改善を図る。 5 倒伏等により生育の回復が見込めない場合は、早期に刈り取ってサイレージ等に調製し、粗飼料を確保する。

遺伝的奇形不良遺伝子の開示

ホルスタイン種における遺伝的奇形不良遺伝子(ブラキスパイナ)のキャリア牛について通知がありました。

○ブラキスパイナとは？

ホルスタイン種における遺伝的奇形であり、両親から共に不良遺伝子を受け取った場合(ホモ)に発症するものです。ほとんどは妊娠初期の流産となるが、希に死産となる場合があります。例えば両親が共にキャリアであれば、1/4(25%)の確立で発症します。

○キャリア種雄牛(今回通知牛)

- 1)JP3H53010 スプリングヒルオー ティー ラウンドアツブ
 - 2)JP3H54477 レスポアール サンデイ スター ハーゲン
- (関連記事は、本誌6月号12頁)

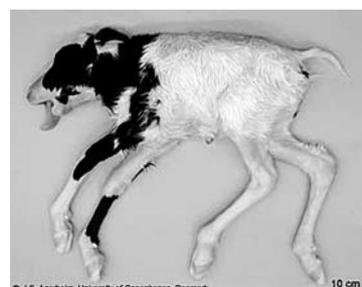


写真 ブラキスパイナの死産牛
コペンハーゲン大提供(デンマーク)

平成24年度第2四半期(7月~9月) 配合飼料等価格改定幅(お知らせ)

1) 広酪製造飼料の価格(主にTMR)

【平成24年度第1四半期との比較】

(改定幅はkgあたりの価格差)

(単位:円)

品目名	前期比較
広酪コンプリート1号	0.1
広酪コンプリート2号	0.1
広酪コンプリート3号	0.1
広酪TMRタイプT V2	0.2
広酪コンプリート4号	0.0
広酪TMRタイプT	0.0
TMRタイプA	▲0.1

2) 系統組織の価格動向

【平成24年度第1四半期との比較】

(改定幅はkgあたりの価格差)

系統組織の名称	配合飼料	哺育脱脂粉乳
全酪連	0.9円	▲10,000円/t
西日本くみあい飼料(株)	1.15円~2.0円	▲10,000円/t

3) 配合飼料価格安定基金 450円発動

【平成24年度第2四半期】

通常補てん金450円/tが発動されることとなりました。

(価格変動の主な理由: トウモロコシと乾牧草の値下げ、大豆粕の高騰、ビートの値上げ)

事業推進課

☎〇八二四一六四一七〇七二

大震災で国民を救った「牛乳」? 健康に無くてはならない牛乳の価値を考える

乳の学術連合(社団法人日本酪農乳業協会〈Jミルク〉共催)は牛乳の日を記念して、コクヨホール(東京都港区)で一般公開シンポジウム「いま一度、乳の価値を考える」を開催し、約300名が出席した。

講師は中村丁次氏(神奈川県立保健福祉大学学長、日本栄養士会会長)で東日本大震災に触れて、「栄養補給と生活習慣病予防からみた牛乳の役割」と題して講演された。

■被災地では栄養過多

▼震災後、被災地では大量の食糧物資が供給され、民間の炊き出しによるボランティア等による食糧支援が行われた。しかし現地では山積みの即席麺や冷たいおにぎりや乾パン、そして菓子類の山。火も水も使えない現地で下水処理が無くラーメンの汁は「全部飲みましょう」との張り紙が……。高血圧や糖尿病の方は大変だったようだ。

■被災者の栄養を修正した「牛乳」

▼震災3か月後になるとやっと、「牛乳」が避難所等に供給され、ほぼ栄養素の偏りを修正出来たとあった。完全食品というものは自然界には存在しないとす一方、何が一番それに近いかと言えば「牛乳」が挙げられる。それは唯一「乳」だけで人間は生きていける時期があ

る。何れ離乳するが、ある時期にミルクだけで生きていける食品は、自然界には他に無いという。今回の被災現場での体験から極端に栄養バランスが崩れた時、それを修正してくれたのが「牛乳」であったと改めて感じたであった。

■メタボ対策に「牛乳」!

▼生活習慣病予防検診で数千人を対象に、牛乳の摂取量によってメタボがどの程度発症するかというテストを行った結果、牛乳・乳製品を毎日摂っている人はメタボになる確率が低く、女性がタバコを吸わず、牛乳・乳製品の摂取量が多い人ほどメタボのリスクは低くなると紹介された。

■高血圧に「牛乳」?

▼牛乳・乳製品を飲んでいる人は血圧が低くなるということが分かっている。その根拠にカゼイン、ホエイタンパク質が消化される際に生成されるペプチドに血圧降下作用があるのではないかとされている。

これらの牛乳の効用は一部です。皆さんも今一度「乳の価値」を見つめ直して牛乳・乳製品のPRをしていきましょう。

(参考: デーリィニュース〈VOL. 32 No. 12〉酪農文庫社発行)

市乳販売促進課

☎〇八二四一六四一七〇七二